

製造業

- ◇**パン**…食育の一環を担っているため、微細のクレームも発生しないように、より一層の注意を払い仕事に係わっていかねばならない。少子化、従業員の高齢化、機械の老朽化等々、業況の悪化を感じる。大手のように全部機械で製造するのは違い人の手を入れ作業をしているので、十分注意をと思っているが完全にはいかないのが残念。最近は規制が特に極細になり、組合員一同頭の痛いところ。あまりに厳しいので、高齢も伴い脱退者が増えている。利益もあまりないので、今後考えていきたい。
- ◇**酒**…11月の当県課税移出数量は、前年同月比89.6%と低い水準となった。特に普通酒は減少しており、水戸・石岡の大口先が大きく落ち込んだ。しかし、特定名称酒においては前年比100.8%と引き続き増加傾向にあり、年間では2桁の伸びで推移している。また、焼酎については100.5%と前年を維持している。清酒輸出に関しては依然として順調な伸びを示しており、国際空港免税店エリアでの試飲販売も好調な中で継続。11月以降は清酒醸造の最盛期であるが、26年度の原料米調達について、酒造好適米は枠外生産により辛うじて確保、加工用米は農水省・全農へ要望の結果、安定的に確保出来た。
- ◇**納豆**…前年同月に比べ売上が低調であったが、理由はよく分からない。全体的に経費が上昇している中で、値上げしなくては出来ない状況にある。
- ◇**菓子**…12月上旬は低調に推移。中旬からは一大イベントのクリスマス関連の商品の動きが良くなり、売上増加。下旬には年末年始向けのギフト商品の納品数量が増加する。12月全体では前年同月比で売上微増するも、収益は減少している。
- ◇**繊維製品（袋物）**…年末の需要か、売上は各社とも増加した様子。円安でこれからの企画も一部国内に移動する動きも見られる。
- ◇**木材**…全般的に需要が鈍く、実需の盛り上がりが見られない状況である。プレカット工場、販売店でも徹底した当用買いの姿勢である。年明けの製品荷動きの期待感はなく、先行き不透明感が強い市況である。
- ◇**プレカット**…加工坪数は前年同月比30%減、やはり昨年の反動なのか。木材価格は、円安の影響が出てきて輸入材の値上げが1月にありそうである。
- ◇**段ボール**…12月は前年並みの量を確保出来た所が

多く感じられた。しかし、勢いは感じられず、アベノミクスの効果がいつ現れるのか未だ分からない。逆に、円安による材料の値上げから収益の圧迫にならないか不安が残る。

- ◇**焼物**…平成26年度が景気の底だと認識していたが、益々景気の後退を実感している。1日も早い政府の手当を期待する。
- ◇**鍍金**…12月の売上高は久しぶりに前年比5～10%程度の増加だった。家電、自動車部品等は相変わらず低調であり、機械部品についても受注量が減少している。建築・建設関係の業種は好調である。業界全般の景況としては、前年より若干取り戻している感じである。金属材料（銅、ニッケル、亜鉛等）は円安の傾向で値上がりしている。工業薬品の価格は大きく変わらない。
- ◇**電化機器**…依然として当月生産高は対前年同月比マイナス。12月は△19.1%、第3四半期迄では△18.5%。現状から好転につながるものが見当たらず、第4四半期も厳しい状況での推移見込。
- ◇**工業団地（農機部品）**…組合員の売上状況は、対前年同月比で組合員7社中3社が増加、4社が減少（全体増減率72%）。主得意先（1社2工場）への受注依存度が90%前後の為、主得意先の事業環境を反映して厳しい状況が継続。雇用人員は、11月度に引き続き対前年比減少とはなったが95%に留まっており、苦しい経営状況は継続中。

非製造業

- ◇**セメント卸**…袋セメントの出荷袋数は、前年同月比約2%の減少。出荷状況は減少基調に変わりはないものの、年末にかけて官庁工事が増加したことから、前月比では約12%の増加となった。
- ◇**水産卸**…精算所取扱高は前年同月比6.85%の増。市場で朝市の年末開放（12/27～30）があり、一般買い物客で賑わった。
- ◇**食品卸売**…月半ば頃までは野菜・果実ともに単価安で推移していたが、全国的な大雪の影響もあり一転して単価高となった。年末に需要が高まるみかんも雪で収穫出来ず、単価高となった。一年を通して天候の影響により単価が大きく変動し、販売に苦慮した年であった。
- ◇**県北地区共同店舗**…賞与支給や年末商戦で商圏が広がる時期なだけに期待したが、茫然自失の結果となった。
- ◇**県央地区共同店舗**…食品品の売上は何とか確保出来たが、衣料品は年末に向かって大幅に落とし

- た。買回り品の購入を控えていることが伺える。
- ◇**県南地区共同店舗**…閉店セールを実施したことで服飾関連の売上が増加したため全体でプラスになったが、食料品、身廻品は低迷が続いた。
 - ◇**家電**…消費増税の反動が4月以降顕著に表れ、この年末まで続いている。厳しい中、薄型テレビ(50V型)は好調なるも、売上高は前年比ダウンの状況。27年は、地域店復権へ基本活動の原点(訪問活動)に立ち返り、併せてお客様のニーズを捉えて商売拡大へ展開することを望みたい。
 - ◇**中古自動車**…12月のオークション出品台数は、対前年同月比16.1%減と更に厳しい状況だった。しかしながら玉不足の影響もあり、成約率は好調で50%をオーバーし、単月及び年度累計で過去10年間の最高値となった。
 - ◇**石油**…原油価格が大幅に下落したため、ガソリンの販売価格は前年同月比で5円値下がりした。仕入価格の値下げ幅以上に販売価格を値下げしての販売競争が展開されているため、収益状況の改善は見られない。
 - ◇**ホテル旅館**…入れ込み客数は、ほぼ前年同様。年末のカレンダーの並びが良かったため好調だったが、インフルエンザによるキャンセルが相次いだ。
 - ◇**自動車整備**…組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前年同月比は、普通車は106.5%、軽自動車は104.3%とともに増加となった。
 - ◇**総合建設**…建設業従事者不足は慢性的な状態になった。建設業従事者は専門的な技量と知識経験が必要なため、すぐに育成できないことが主たる理由だが、低賃金及び新人の修業期間の忍耐が続かないことも大きな要因である。また、各種社会保険の加入が必須条件になり、それに伴い正規雇用等も必須条件となった。このような条件で新規

採用し教育することは企業にとって大きな賭けとなり、さらに雇用にブレーキがかかっている。労務単価が合わない。

- ◇**管工事(県南)**…売上は前年同月比50%減。昨年は、増税前の駆け込み需要によるものと思われる。
- ◇**県北地区運輸**…年末の繁忙期にて、主要顧客の出荷量は上向きとなっている。また、燃料価格は値下がり傾向となっているも、円高等による資材関係等の上昇が収益を圧迫している。
- ◇**県央地区運輸**…年末売出しや年始用商品販売の為、雑貨・衣料品・家電・部品等すべてにおいて荷動きがあり、人手不足や車両不足が一時期発生した。軽油価格も値下り気味ではあるが、依然経営は苦しいままである。

H26.12月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品業		▲ 50.0		▲ 33.3	
その他業		▲ 30.0		▲ 40.0	
卸売業		25.0		▲ 50.0	
小売業(商店街を含む)		▲ 27.3		▲ 36.4	
サービス業		0.0		0.0	
建設業		▲ 20.0		▲ 40.0	
運輸業		0.0		▲ 50.0	
全体		▲ 24.0		▲ 38.0	

【天気図の見方】県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は、「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値

アクモス 株式会社

http://www.acmos.co.jp

— 人と技術と感動を —

プロフェッショナルサービスプロバイダーのアクモスグループです

<茨城本部> 〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松2713-7
TEL: 029-270-5555 FAX: 029-270-5531

 認定コード 6888	本社 東京都千代田区神田小川町三丁目26-8 03-5217-3121	つくばオフィス 茨城県土浦市卸町1-1-1 関鉄つくばビル2F 029-834-3391
-------------------	---	--